



事業目的・概要等

背景・目的

- 我が国では、物品ごとの実態に即して各種のリサイクルプロセスが構築されており、着実に成果を上げてきた。
- しかし、似たような組成の製品であっても、複数制度に跨がることによって、排出者にとって排出の仕方が分かりにくく、不便であること、リサイクラーにとって技術、ノウハウの共有が不十分であること、メーカーにとって再生材の規格化・安定供給に支障が出ること等の問題が指摘されている。
- また、近年横ばいとなっている資源生産性や循環利用率を改善するためにも、各種リサイクル制度（家電・建設・自動車・小型家電・資源リサ法）の特性を活かしつつ、横断的に効率化・高付加価値化できる部分は共通の取組を進めることにより、「都市鉱山」と呼ばれる我が国の資源の有効利用の最大化と施策展開の効率化を図る。

事業概要

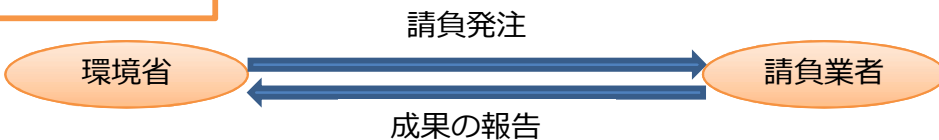
I. リサイクルプロセスの横断的高度化・効率化

- ・横断的リサイクルの効率化
- ・プラスチック等の素材に着目したリサイクルの高度化

II 各種リサイクル制度の特性を活かした取組

- ・家電／小電等回収率向上に向けた自治体／小売／建設現場における回収量最大化とルート開拓
- ・違法な廃棄物回収業者対策
- ・海外動向等を踏まえたリサイクルスキーム・規格検討
- ・建設廃棄物リサイクルの実態把握・需給バランス調査
- ・自動車3Rの推進・質の向上／次世代自動車・素材多様化への対応等

事業スキーム



イメージ

環境配慮設計



期待される効果

- 再資源化量の増大と資源の確保
- 循環産業の育成・国際競争力強化
- 効率的リサイクルによる国民負担の減少